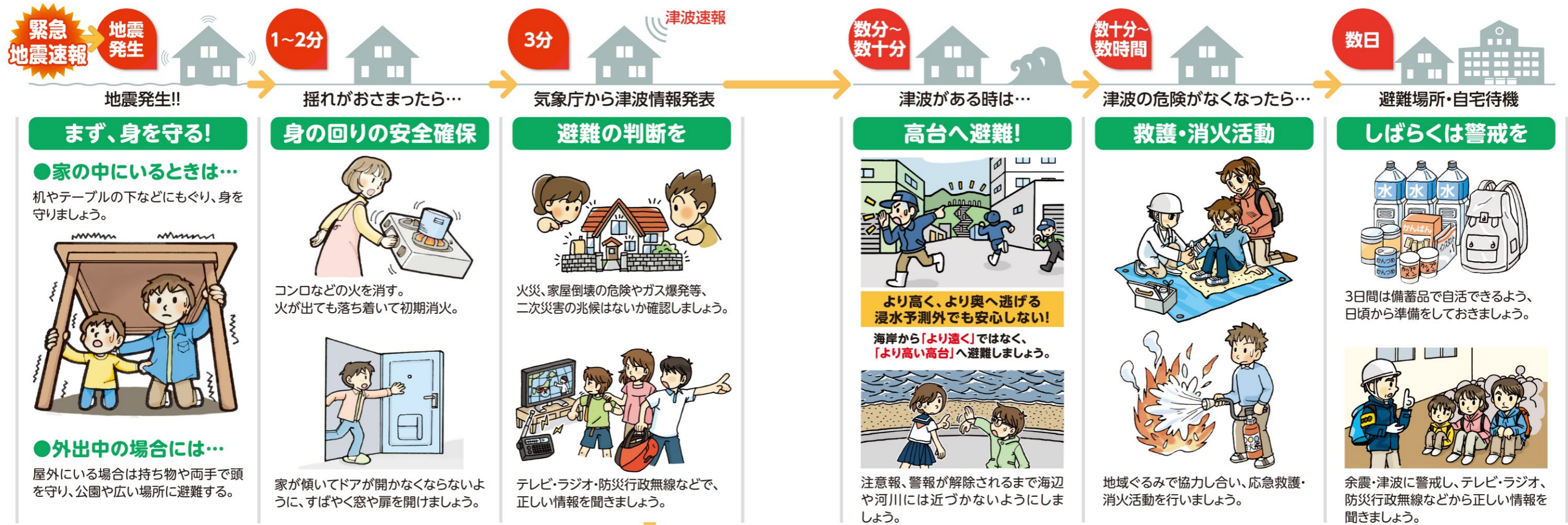


地震・津波災害が起きたら

地震・津波から身を守るために「とるべき行動」を確認しておきましょう。

地震・津波の対策



北海道・三陸沖 後発地震注意情報

引き続き避難できる準備を!

マグニチュード「日本海溝・千島海溝」沿いでM7クラスの地震が起きた場合、後日続けて巨大地震が起こる可能性があります。その後の巨大地震の発生に注意を呼びかける情報「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発表されます。



※詳しくはこちらまで▶

急いで最寄りの避難場所へ避難しましょう!!

防災マップを確認!!

危険なら…

避難はできるだけ徒歩で持ち物は少なく!!

- ▶ 動きやすい服、ヘルメット、底の厚い靴。
- ▶ 家族や知人への連絡メモを残す。
- ▶ ガスの元栓を締め、電気のブレーカーを切る。

わが家の防災メモを確認しましょう!

※本誌の最後のページにあります。

地震の震度(気象庁震度階級)

震度0 人は揺れを感じない。	震度1 屋内にいる人の一部がわずかな揺れを感じる。	震度2 電灯などがわずかに揺れる。	震度3 棚の食器類が、音を立てることもある。	震度4 ほとんどの人が驚く。電灯などが大きく揺れ、眠っている人のほとんどが目覚める。
震度5弱 大半の人が恐怖を覚え、物に掴まりたいと感じる。棚の食器類、書棚の本が落ちることがある。	震度5強 物に掴まないと歩くことが難しい。補強されていないブロック塀が崩れることがある。	震度6弱 立っていることが困難になる。固定していない家具が移動し、倒れるものもある。	震度6強 はわないと動くことができない。耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが増える。	震度7 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。

風水害 土砂災害 地震・津波災害 雪害・竜巻災害 災害の備え 防災マップ 避難施設

風水害 土砂災害 地震・津波災害 雪害・竜巻災害 災害の備え 防災マップ 避難施設